

洋画

美術科 洋画コース

TR テキストレポート科目 TW テキスト作品科目 TX テキスト特別科目 S スクーリング科目 GS 藝術学舎科目 WS Webスクーリング科目 必 必修科目 選必 選択必修科目 選 選択科目

※下記で紹介する科目は2018年度開講予定のものです。一部、変更になる場合があります。

洋画コース専門教育科目

STEP①

デッサンを基本として、「見る」「描く」の基礎を身につける。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
1年次						
洋画演習 I-1	鉛筆デッサン「塊を描く」/ 鉛筆デッサン「私の靴」	TW	必	各2		デッサンから絵画へ。鉛筆デッサンでは「塊を描く」、「私の靴」の制作を通し、対象を量として捉えること、丹念に観察することを学ぶ。油彩では「自画像」、静物「野菜・果物」の制作を通し油絵具での表現に慣れる。
洋画演習 I-2	人物油彩「自画像」/ 静物油彩「野菜・果物」	TW	必			
洋画 I-1	牛骨鉛筆デッサン	S	必	各1		「牛骨鉛筆デッサン」、「石膏木炭デッサン」、「静物木炭デッサン」の制作を通し、形態、明暗、量感、空間、構図など、造形に必要なことから学ぶ。あわせて鉛筆や木炭等の描画用具や対象の捉え方について学ぶ。
洋画 I-2	石膏木炭デッサン	S	必			
洋画 I-3	静物木炭デッサン	S	必			
洋画 II-1	静物油彩1	S	必	1		「静物油彩1」、「人体油彩1」の制作を通し、油絵具の色や溶き油、混色などについて学ぶ。「静物油彩1」では三原色+白での制作、「人体油彩1」ではヌードモデルのクロッキーと木炭デッサンを経て油彩で制作する。
洋画 II-2	人体油彩1	S	必	2		

STEP②

色と形から、造形表現に取り組む。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
2年次						
洋画演習 II-1	ドローイング「手」/ 鉛筆デッサン「囲まれた空間を描く」	TW	必	各2		形態や色彩の構成を学ぶ。「手」のドローイング、デッサン「囲まれた空間を描く」の制作を通し、観察描写からの造形的な広がりを体験する。油彩では、「鏡面に映る自画像と室内風景」、「建物のある風景」の制作を通し対象の観察から色や形を探ることを目指す。
洋画演習 II-2	人物油彩「鏡面に映る自画像と室内風景」/ 風景油彩「建物のある風景」	TW	必			
洋画 III-1	人体油彩2—塑造と油彩	S	必	2		「人体油彩2—塑造と油彩」では、人体をモチーフに立体制作に取り組んだ後、油彩で制作する。「風景を創る」では現場の風景をモチーフに画面構成し、鉛筆、ペン、水彩などを用いて制作する。
洋画 III-2	風景を創る	S	必	1		
洋画 IV-1	静物油彩2	S	必	2		「静物油彩2」ではアクリル絵具や様々な素材を用いてコラージュを制作し、そこからの発見を活かした表現を探る。「コンポジション」では静物をモチーフに3種類の課題を制作し、画面構成について学ぶ。
洋画 IV-2	コンポジション	S	必	1		

自分の表現とは何かをつきつめていく。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
3年次						
洋画演習Ⅲ-1	自由制作Ⅰ「発想」	TW	必	各2		それぞれ油彩 ^{※1} を2点ずつ制作する。スクーリングの洋画Ⅴとあわせて、自らの興味を探り、観る側を意識した表現を学習していく。
洋画演習Ⅲ-2	自由制作Ⅱ「表現」	TW	必			
洋画Ⅴ-1	花	S	必	各2		モチーフと向き合うことで、思考と絵画表現の関係を探り、人や花をモチーフとしながらも単なる再現ではない表現を目指す。自己の制作を振り返り、自分のこだわりを展開させる。また、抽象絵画の誕生から現在までの流れ、その精神的支柱を学び、制作を行う。
洋画Ⅴ-2	人	S	必			
洋画Ⅴ-8	構想	S	選必 ^{※2}	各2		
洋画Ⅴ-9	抽象	S				

※1 アクリル絵具も可 ※2 「洋画Ⅴ-8」または「洋画Ⅴ-9」いずれか1科目を選択必修。

自分の想いを絵にする。

科目名	サブタイトル	S/T	必/選	単位数	単位修得試験	履修内容
4年次						
洋画演習Ⅳ	テーマ研究「50号自由課題」 プレゼンテーション「ポートフォリオ」/ 「副論」	TX	必	4		第1課題のテーマ研究、第2課題のプレゼンテーションの計2課題を制作。秋のスクーリングから着手する100号の制作とあわせて、「作品をつくる行程」と「プレゼンテーション(提示)」とを学ぶ。
卒業制作		S	必	6		担当教員の指導のもとテーマを設定し、エスキースの制作を経て、100号の作品を制作する。これまでの学習によって習得した技法、育んできた自身の価値観や創造性を集大成して制作する。なぜこの絵を描くのかという、自己の内面や思いと社会との接点を意識し、表現の構築を行う。

コースからのスクーリング開講に関するお知らせ

1～4年次まで全ての科目を東京でも開講しますので、卒業要件に必要な単位を東京で開講するスクーリングだけで修得することも可能です。ただし、3年次の選択必須科目の一部に京都のみ開講となるものがございますので、その科目を選択する場合は京都で受講することになります。また、全年次で6日間連続のスクーリングもあります。